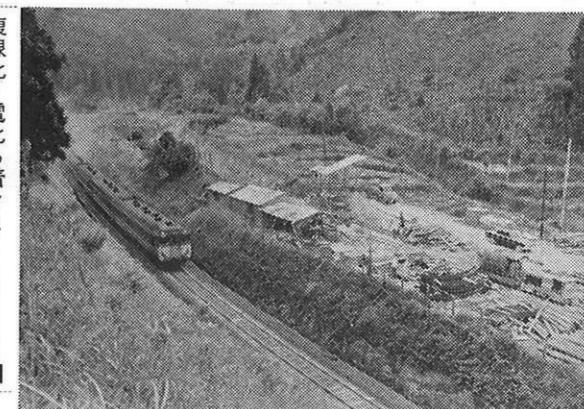


をはかる。

平坦畠作地帯については、そさい、果樹、特用作物、中山間地帯は果樹、山間地帯は、果樹（くり、うめなど）、高冷地そさい、特用作物に重点をおき、基礎条件の整備、加工場その他施設の整備をはかる。



複線化・電化も着々と……

国土保全事業の促進

毎年雨期に発生している水害の解消・湿地帯の改良等のため、加勢川改修を促進する。

また、矢形川、赤井川下流は、加勢川御船川、矢形川に挟まれた常習洪水地帯であるので、洪水、渓水防除を目的とする天君防災ダムの建設を促進する。

農業の近代化

平坦水田については、水稻収量引上げ、一毛作田の二毛作化等のため、用排水施設、区画整理その他基礎条件の整備

八代臨海工業地帯

テンボを合わせて造成する。

なお、石油配分基地の建設等について、その促進をはかる。

八代臨海工業地帯

昭和四十年度から着工した国営八代平野土地改良事業と共同で、球磨川を水源とする取水堰及び導水路を築造し、工業用水として、五・五五m³/秒を取水し既存企業を中心とする内陸部と新規に造成を進めている臨海工業用地に給水しようとするものである。

八代臨海工業地帯

ところで、三号線のうち、陸上トンネルで九州一を誇る佐敷トンネルでは、うなぎ昇りの交通量によって、排気ガス、浮遊バイオガスが増え、そのため換気装置の設置が強く望まれている。県議会も三月にマイナス一〇八岸壁二バース、マイナス九岸壁一バース、マイナス七・五岸壁二バースを建設し、最大一方五千重量の船舶の利用可能な港湾施設の整備を促進する。また、内港においては、商港としてマイナス五・五八三バースの建設がかかるなど港湾施設の整備を進める。

八代平野土地改良と

八代平野の約六千八〇〇鈴を対象として総合的な土地改良事業、すなわち用排水の分離を前提とする用排水改良で、土壤改良、区画整理等を施行し、地域農業の近代化、生産力増強をはかるうとするものである。（二六頁参照）

八代平野土地改良と

八代平野土地改良事業等と農業構造改善事業を基幹事業として、農業経営の基盤を整備し、基幹作物としては、平坦地帶に米、い草、そさい、これに畜産を配合し、山麓地帯、中山間部にオレンジベルトを形成し、山間部には農村等の開発につとめる。なお、現在農林省において直轄調査中の不知火大干拓の実現について積極的に推進する。

この地区は、県の最南端に位置し、不知火海に面する丘陵地

帶である。從来、三太郎の峻険にはばまられた交通条件の制約から、やや封鎖的な

八代は、新産地域における南部の開発拠点であつて、港

市施設、生活環境施設の整備を図る。

なお、周辺地域においては、工業地帯の背後地として発展するよう住宅、文教、厚生などの生活環境施設を整備する。

次に本県の穀倉地帯である八代平野については、より生産性の高い農業地帯とするため、八代平野の約六千八〇〇鈴を

対象とする八代平野土地改良事業を推進する。これらを重点として、スケールの大きい工業園都市としての八代市及びその周辺地域の開発を進める。

事務局がスタートしたのが昭和三十八年八月。規模が大きいだけに、村ぐるみ一

八代市の市街化計画を早急に確立し、都

市施設、生活環境施設の整備を図る。

なお、周辺地域においては、工業地帯の背後地として発展するよう住宅、文教、厚生などの生活環境施設を整備する。

次に本県の穀倉地帯である八代平野については、より生産性の高い農業地帯とするため、八代平野の約六千八〇〇鈴を

対象とする八代平野土地改良事業を推進する。これらを重点として、スケールの大きい工業園都市としての八代市及びその周辺地域の開発を進める。

芦北

この地区は、県の最南端に位置し、不知

火海に面する丘陵地

である。

（二六頁を参照）

ものである。

（二六頁を参照）